

令和 2 年度

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略

進捗管理シート（効果・検証）

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本目標	①新たな活力を生み出す「しごと」づくり							
	本町の基幹産業である農業の振興とともに、地域の優位性でもある豊かな自然と地域資源を活かした産業振興を推進し、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある仕事を創出し、安定した雇用の確保を目指します。							
数値目標	指 標	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)
	若者の雇用創出数	43人 (H27～R1平均)	30人				43人 (R2～R6平均)	69.8%
	法人数	164事業所	163事業所				170事業所	95.9%

基本的な方向	(1)ともに支えあい、いきいきとした就労の場をつくる								
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)	
	障がい者雇用に対する助成件数	2人	1人				3人	33.3%	
	地域おこし協力隊隊員数	2人	1人				5人	20.0%	
具体的な施策	施策	① 障がい者短期就労パワーアップ事業					担当課	保健福祉課	
	2年度の取組状況	町内に住所を有する障がい者を雇用した事業主に対し、賃金の一部を年間30万円（最大3年間）助成しており、R2年度は、雇用2年目になる障がい者1名の助成を行った。(助成率 1年目：1/2、2年目・3年目：1/3)							
	今後の方向性等	今後も障がい者の雇用の促進及び障がい者の自立を図るため、町内企業、個人事業主等の理解を求めるとともに、障がい者の一般就労に関する意識の向上に向け、取り組みの強化が必要である。							
	施策	② 地域おこし協力隊活用事業					担当課	企画財政課	
	2年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊1名が3年目（11月で任期終了）を迎え活動を行った。</li> <li>・コミュニティカフェの運営管理を臨時職員2名と実施。</li> <li>・地域おこし協力隊活動～カフェを活用しながら交流の場を提供するとともに、世代間が交流できる仕掛けづくりや高齢者の引きこもり防止につながる取組みなどを展開した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で引きこもりがちにならないよう、外出のきっかけになるよう「星に願いをプロジェクト」を実施。</li> </ul>							
	今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊の知識や経験、やる気を活かすためフリーミッションにより募集を行い、新たな視点や発想を活かした地域活性化や地域力向上につながる活動の支援を行う。</li> <li>・R3年度より小学生を対象とした公設塾を開設するため、講師として協力隊を3名配置し子ども達の基礎学力及び家庭学習習慣の定着のためにサポートを行う。</li> </ul>							

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(2) 次世代につながる強い農業づくりを推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
	良食味米(ゆめぴりか低タンパク米)の出荷数量	1,440t	636t				1,500t	42.4%
	特別栽培米作付面積	366ha	300ha				400ha	75.0%
	スマート農業推進事業申請件数	-	18件				70件	25.7%
具体的な施策	施策	① 良食味米の安定生産と生産体制の強化					担当課	産業観光課
	2年度 の取組状況	食味米の安定生産のために生産資材購入支援の実施、生産基盤整備の実施 ○農地面積1192.7ha(うちゆめぴりか469.4ha) ○生産資材購入実績 ケイ酸資材(500円/10a) 71戸 364ha ○生産基盤整備実施地区 茶志内東1: 区画整理11.7ha 茶志内東2: 区画整理25.2ha						
	今後の 方向性等	2年産の水稻の作況については「良」となったものの、低タンパク米比率については28.1%に止まり、平成30年度以降の低タンパク米比率は低い傾向にある。 品質管理や作業効率の向上など、「産地強化」と「売れる米づくり」の推進を図り、良食味米の安定生産に向けた支援を継続していく。						
	施策	② 特別栽培米(減農薬栽培米)の取組推進					担当課	産業観光課
	2年度 の取組状況	環境保全型農業への支援の実施 JA新すながわ特別栽培米生産組合:48戸 JAびばい環境保全型農業推進協議会:1戸 取組基準: 農薬⇒慣行栽培の半分 肥料⇒化学成分量が慣行栽培の半分 支援内容: カバークロップ(6,000円/10a)、フェロモントラップ(6,000円/10a)、たい肥(4,400円/10a)、有機農業(12,000円/10a) 水稻種初温湯殺菌消毒施設利用料助成 30円/kg(リフレッシュ基金)、15円/kg(ブランド米確立緊急支援対策) 計 45円/kg						
	今後の 方向性等	取り組みが浸透してきており、本年度も目標達成に向けて順調に推移しており、現在の支援を継続して行っていく。 また、水稻種初温湯殺菌消毒施設の利用促進により、安心・安全な米作りを目指し、取組面積の増加を図る。						
	施策	③ 農産物販路拡大の推進					担当課	産業観光課
	2年度 の取組状況	例年、農業担い手育成基金(異業種交流等助成事業)を活用し、生産団体に米の販路拡大とPR活動を行った経費に対して助成を行っていたが、今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、農協等のPR活動を行うことができなかった。						
	今後の 方向性等	米の生産地として、当地域の強みである特別栽培米・良食味米のPR強化を行い、農協と連携を図りながら販路拡大に努める。						
	施策	④ 農業後継者の育成や法人化の促進					担当課	産業観光課
2年度 の取組状況	新規就農者 ~なし 法人化 ~1経営体							
今後の 方向性等	法人化については、1経営体が新規で立ち上げがあったものの、農業後継者を除く新規就農者はいない状態が続いている。今後も農協・普及センター等の関係機関と連携強化を図りながら、農業後継者育成等への支援を行っていく。							

具体的な 施策	施策	㊦ スマート農業推進事業	担当課	産業観光課
	2年度 の取組 状況	スマート農業推進事業 (1) RTK基地局活用促進 1件 (2) ドローン操作資格取得費助成 17件 RTK活用講習会の実施 2月		
	今後 の方向 性等	ほ場の大区画化や経営面規模の拡大に伴う農業者の生産コストの低減と省労力化を図るため、スマート農業に取り組む農業者に対し支援を行う。スマート農業に興味を持ってもらうため、JA、普及センター等と連携し情報提供や学ぶ機会の提供を模索していく。		
	施策	㊧ 6次産業化・特産品の開発等の検討	担当課	産業観光課
	2年度 の取組 状況	酒米品種「彗星」を使用した純米吟醸酒「ないえ彗星」が金滴酒造で製造され、奈井江町や砂川市を中心に近隣市町で販売されている。また、特別栽培米ゆめぴりかを使用した純米吟醸酒「ゆめぴりかの里」が田中酒造により新たに製造され、ふるさと応援寄付金の謝礼品に加わった。		
	今後 の方向 性等	「ないえ彗星」と「ゆめぴりかの里」については、ふるさと応援寄付金の返礼品としても活用されており、町の特産品として根付くようホームページ等でPRする。 また、上川大雪酒造から奈井江産「彗星」を使用した日本酒が新たに製造され、奈井江町と砂川市で発売されることから、町の新たな特産品としてPRするとともに、生産農家・酒造メーカー・JA等販売店の円滑な連携が図られるよう調整役を担っていく。		

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向		(3) 立地企業への支援や企業誘致を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)	
		新規保証融資件数	26件 (5年間)	4件				26件 (5年間)	15.4%
具体的な施策	施策	① 中小企業振興保証融資や相談支援					担当課	産業観光課	
	2年度 of 取組状況	①保証融資利子補給（利息の年利1.5%分までを上限）、保証料補給（保証料の1/2） 保証融資件数4件、利子補給延べ19事業者 ②相談支援：実績なし							
	今後の方向性等	中小企業の活用も進み、事業効果も現れていることから、今後も継続して事業を行っていくが、さらなる事業促進を図るため、地元金融機関と連携し、保証融資、利子補給の活用を周知するとともに、北海道、中小企業支援センターとも連携しながら、相談支援を行う。							
	施策	② 新規立地企業や事業拡大に対する企業支援					担当課	産業観光課	
	2年度 of 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資額に対する助成 0件</li> <li>・用地取得に対する助成 0件</li> <li>・雇用者に対する助成 0件</li> <li>・工業用水使用料に対する助成 0件</li> </ul>							
	今後の方向性等	立地企業との連携を深めながら、事業拡大への取組支援として事業を継続するとともに、企業誘致活動と一体的に本制度の周知を行っていく。							
	施策	③ 空知団地を中心とした企業誘致の推進					担当課	産業観光課	
	2年度 of 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データセンター展（秋）への出展</li> <li>・企業等誘致訪問活動（道外4社・団体、町内2社）</li> </ul>							
	今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美唄市と連携した誘致活動（企業誘致推進会議の活動として）</li> <li>・町独自の活動（道東京事務所、中小機構とも連携）</li> </ul> ※ 道東京事務所等を通して企業側から照会があった場合は、町独自に誘致活動を行っていく。							
	施策	④ 遊休公共施設を活用した企業誘致の推進					担当課	産業観光課	
2年度 of 取組状況	ないえ温泉施設等について、「今後のあり方」を町民等と議論し、検討								
今後の方向性等	ないえ温泉施設等について、「今後のあり方」を町民等と議論し、一定の方向性を提示								

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本目標	②奈井江町に新たな「ひと」の流れをつくる							
	町内立地企業従業員の若者や子育て世代をターゲットにした定住施策を中心に展開するとともに、広大な自然や豊かな食など、本町の優れた地域資源を町内外に広く発信するとともに、町民企画型のイベントなどの開催により新しいひとの流れを創出します。							
数値目標	指 標	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)
	転入者数	163.8人	143人				170人	84.1%

基本的な方向	(1) 奈井江町への移住・定住対策を推進する								
重要業績評価指標 ( K P I )	数値目標項目	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)	
	民間賃貸住宅家賃助成新規助成件数	43件 (5年間)	34件				45件 (5年間)	75.5%	
	新築・中古住宅購入助成件数	93件 (5年間)	19件				100件 (5年間)	19.0%	
	東京圏からの転入者数	-	5人				50件 (5年間)	10.0%	
	SNSフォロワー数	-	731人				1,000人	73.1%	
具体的な施策	施策	① 移住・定住促進事業					担当課	企画財政課	
	2年度の取組状況	①新築住宅購入助成 最大300万円の助成 13件 ②中古住宅購入助成 最大200万円の助成 6件 ③民間賃貸住宅家賃助成 最大月1万円を5年間助成(若年単身12件・子育て世帯21件・若年夫婦1件) 令和2年度新規 14件 ④リフォーム助成 最大15万円助成 29件							
	今後の方向性等	平成27年度から事業を展開しており、転入者数は、昨年に比べ減少したものの、転出者数は昨年より減少している。民間賃貸住宅家賃助成対象者が新築住宅建設する件数が増加し、町内にとどまるなど事業効果は継続していると思われることから、令和3年度も同様の事業内容を継続していく。リフォーム助成は、令和2年度より助成額を20万円から15万円に引き下げ、件数を25件から30件に増加。申込者が減少してきているが、対象件数より申し込みはあるため、今後も検証し実施していく。							
	施策	② 地方創生移住支援事業(東京23区からの移住・就業者への支援金)					担当課	産業観光課	
	2年度の取組状況	U I J ターン新規就業支援事業を活用した移住支援金 相談 0件 申請 0件							
	今後の方向性等	北海道と連携し移住・就業希望者の相談に応じるとともに、町内中小企業からの相談に対応していく。							
	施策	③ 情報発信の強化					担当課	企画財政課	
	2年度の取組状況	・町ホームページやSNS、UHB地デジ広報を活用し情報発信を行った							
	今後の方向性等	引き続き、町ホームページやSNS、UHB地デジ広報を活用し情報発信を行っていく							
	施策	④ 企業版ふるさと納税制度活用事業					担当課	企画財政課	
2年度の取組状況	令和3年度中の地域再生計画 未策定								
今後の方向性等	令和3年度中に地域再生計画を策定し、国へ申請を行う。 また、多くの企業に本町の取り組みを周知し、本町に関わりを持つ企業を創出・拡大できるよう検討していきたい。								

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(2) 活気のあるイベントの開催を推進する								
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (H30)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)	
	コンチエルトホール利用人数 (全事業)	7,275人	1,640人				8,000人	20.5%	
	新たなまちのイベント創出数	-	2事業				3事業	66.0%	
施策	① コンサート等の開催						担当課	教育委員会	
2年度の取組状況	4・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館とし、その後イベント開催要件や各種ガイドラインに沿った運営を行った。自主事業としては2事業を中止、4事業を開催し、286名の入場となった。								
今後の方向性等	①中学生を対象とした芸術鑑賞会は継続して実施していく。 ②ホームページなどSNSを活用し広報を展開する。 ③コロナ対策による人数制限などガイドラインに沿った運営を継続し町民が文化芸術にふれる機会を促進する。								
具体的な施策	施策	② まちづくりチャレンジ事業 (イベント開始支援型)						担当課	企画財政課
	2年度の取組状況	■町内で活動している団体やこれからまちづくりを始めようとする団体が取り組む新たなイベントに対して補助金 (50万円を上限) を交付 【令和2年度事業】 ・えんじょいマルシェ (10/31、参加者138名) 実施団体：子育てママサークル ・音楽の散歩道 (11/28、参加者69名) 実施団体：ぐるっペムジカ							
	今後の方向性等	・上記2事業については、引き続き実施 ・新規事業については、広報紙やホームページなどのSNSを活用しながら募集を行う							

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(3) 独身者の出会いのきっかけづくりを推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (H27~R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R2~R6)	達成度 (R2:R6)
	結婚活動事業参加者の婚姻件数	2組 (5年間)	0組				2組 (R2~R6)	0%
具体的な施策	施策	① 結婚活動事業の開催					担当課	農業委員会
	2年度の取組状況	事業名：恋活Xmasパーティー（恋活セミナー・ゲーム・交流会） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止						
	今後の方向性等	・参加者にとってXmas時期が参加しやすい傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、状況を見ながら計画予定。						
	施策	② 結婚活動希望者に対する情報発信					担当課	農業委員会
	2年度の取組状況	・取組なし 例年、北海道コンカツ情報コンシェル主催・発行の「婚活者向け各種講座参加案内リーフレット」を恋活Xmasパーティー参加確認書に情報発信を希望すると記載のあった男性参加者に送付していたが、コロナウイルスの影響により各種講座等の開催が見送られていたため。						
今後の方向性等	・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、事業を開催する場合は、下記のとおりPRをする。 ○婚活事業の周知方法 ①北海道コンカツ情報コンシェルホームページ ②町ホームページ ③広報ないえ ④北海道新聞とプレス空知に掲載依頼 ⑤近隣市町の公共施設やお店等にポスター等の掲示依頼 ⑥UHB地テジ広報 ⑦LINE町公式アカウント							



## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(4) 中心市街地活性化を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (H30)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
	中心市街地歩行通行量	331人/日	394人/日				350人/日	112.6%
	イベント延べ参加者数 (冬まつり、さくら祭り、ふれあいまつり)	12600人 (H30)	3,700人				23,000人	16.1%
具体的な施策	施策	① 多機能型交流施設整備への支援					担当課	産業観光課
	2年度 of 取組状況	町、商工会、農協の情報発信 (掲示板的設置)						
	今後の方向性等	町、商工会、農協が連携し、多機能型交流施設を活用していく。						
	施策	② 中心市街地活性化交流事業					担当課	産業観光課
2年度 of 取組状況	町、商工会、農協の情報発信 (掲示板的設置)							
今後の方向性等	多機能型交流施設を整備し、施設を活用した事業を展開してきたことで中心市街地への人通りが増加するなど一定の効果が現れたことから、引き続き町・商工会・農協と連携しながら事業を展開していく。 ・商店街の売り出し等のイベントを商工会と農協との連携により実施 ・特定健診・健康診断の臨時受付窓口、地場産品を使った食の啓発を実施 ・文化ホールにおけるコンサートや催し物との連携事業を実施 など							

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本目標	◎安心して子育てができる「まち」づくり							
	若い世代の「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。							
数値目標	指 標	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)
	合計特殊出生率	1.15 (H20~H24)	1.36 (H25~H29)				1.48 (H30~R4)	91.9%
	出生数	23人	19人				25人	76.0%

基本的な方向	(1) 健やかに産み育てる環境・体制整備を充実させる							
--------	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--

重要業績評価指標 ( K P I )	数値目標項目	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)
	認定こども園待機児童数	0人	0人				0人	100%
	不妊治療費助成者数 (実世帯数)	6世帯 (5年間)	2世帯				6世帯 (5年間)	33.3%

具体的な 施策	施策	① 学童保育利用料					担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	○子育て世代の経済的負担を軽減するため、第3子以降の利用料無料を継続。 ＜実績＞対象者 2人（実人数）、軽減額 63,200円						
	今後の方向性等	子育て世代の経済的負担を軽減するため、今後も第3子以降の利用料無料を継続する。						
	施策	② 認定子ども園保育料					担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	①子育て世代の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育料無料を継続 ＜実績＞対象者 2人（実人数）、軽減額 854,000円 ②2歳児以下の保育料の10～20%軽減を継続 ＜実績＞対象者 18人（実人数）、軽減額 736,030円						
	今後の方向性等	人口や出生率の増加に大きな影響を与えることから、子育て支援の充実を今後も継続する。 ①第3子以降の保育料無料を継続 ②2歳児以下の保育料の10～20%軽減を継続						
	施策	③ 学校給食費					担当課	教育委員会
	2年度の取組状況	第3子以降無償化、第2子半額助成						
	今後の方向性等	町民の意見を踏まえながら、助成内容の見直しを行う。						
	施策	④ 子ども医療費の助成事業					担当課	町民生活課
	2年度の取組状況	奈井江町の子育て支援策の要となる事業として、前年度と同様の事業を実施。 ①子ども医療費助成の拡充（高校生まで全額助成） ②重度心身障がい者の医療費の拡充（非課税世帯と高校生まで全額助成） ③ひとり親家庭等医療費の拡充（非課税世帯（親は入院費のみ）と、高校生まで全額助成）						
	今後の方向性等	医療費の助成は平成22年度 小学生、平成23年度 中学生、平成26年度に高校生まで町単独事業として拡大してきた。 奈井江町の子育て支援は、複合的に実施することで効果を発揮しているものと捉えており、子ども医療費助成はその要となる事業であることから今後も継続していく。						

具体的な 施策	施策	⑤ 子育て支援施設の充実	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<p>【子育て支援センター】 ・各種事業について、ホームページやFacebookなどを活用して広報を実施。 ・1.6歳児、3歳児健診で育児相談コーナーを設け、支援センターのPRを実施。</p> <p>【児童館】 ・施設の老朽化と利用者数の減少により10月1日東町児童館を廃止。 ・利用の少ない未就学児を対象に、月に2回子育て支援センター職員が訪問し遊び相手をする取り組みを新たに実施。</p>		
	今後の方向性等	<p>【子育て支援センター】 ・感染予防対策を行いながら、利用者のニーズを捉えたテーマで各種事業を実施する。</p> <p>【児童館】 ・感染予防対策を行いながら、未就学児を中心に利用促進を図る。 ・当面の間は必要な維持補修を行いながら、集約化・複合化について引き続き検討を行う。</p>		
	施策	⑥ 子育て世代包括支援センターの開設	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	令和2年2月1日開設。2か月に1回連絡調整会議を開催し、検診等での経過観察者やこども園・支援センター利用者で気になる子どもについて情報共有、支援内容の検討等を実施。		
	今後の方向性等	引き続き関係機関との連携や情報共有をしながら、切れ目ない支援をより一層強化していく。		
	施策	⑦ 不妊治療費負担軽減事業	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<p>【助成内容】 助成回数の上限 1夫婦 通算6回まで 助成額の上限 1回15万円（採卵を伴う場合、初回治療30万円） 1回7万5千円（採卵を伴わない場合、又は中止した場合）</p> <p>【助成実績】 ・助成件数 2件 4回 ・助成額 52万円 ホームページ、広報、公共施設等でのポスター掲示、チラシの配布、滝川保健所における事業紹介等にて事業PRを実施</p>		
	今後の方向性等	<p>○特定不妊治療費は、採卵を伴う治療が特に高額であり、経済的負担が大きいため、北海道の助成事業に合わせR3年度より助成内容を見直す。</p> <p>①所得制限を撤廃する ②助成上限額を増額する（2回目以降の採卵を伴う治療は30万円、採卵を伴わない治療は10万円とする） ③事実婚も対象とする</p>		
	施策	⑧ 妊娠期の負担軽減	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<p>・妊婦一般健康診査費用の助成（14回分/人） 実績延べ数 202回 ・超音波検査費用の助成（6回分/人） 実績延べ数 93回</p>		
	今後の方向性等	○妊娠期の経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できるよう施策を展開することで、出生率の維持につながることを考え、転入・転出等の漏れがないよう管理を行いながら、これまでと同様の事業を継続して行っていく。		
施策	⑨ 妊産婦を対象とした相談体制の整備	担当課	保健福祉課	
2年度の取組状況	<p>・ママ友クラブ（妊産婦交流会） 実績 2回（妊婦2名、産婦5名、乳児5名、幼児1人） 周知～個別通知及び電話勧奨</p> <p>・妊産婦健康・栄養相談 実績延べ数108人 ・妊婦訪問 実績延べ数1人 ・産婦訪問 実績延べ数27人</p>			
今後の方向性等	<p>○ママ友クラブは、茶話会や製作等を通じて参加者同士の交流を深め、特に初産の妊娠期の不安や育児不安の解消と仲間づくりにつながっているが、対象者も少なく、就労妊婦も多い事と、R2年度は新型コロナ感染拡大の影響も大きく、参加者は減少した。今後も開催時期等参加しやすい体制を検討していきたい。訪問や面接等個別支援も継続強化していきたい。</p> <p>○妊婦の健康・栄養相談は、妊婦健診の結果等より貧血や高血糖、高血圧等健康課題のある妊婦もいるため、今後も必要な妊婦に支援を充実させていきたい。栄養相談は、母子健康手帳申請時、妊娠中期に個別栄養相談実施しており、今後もきめ細かい支援を実施していきたい。</p> <p>○妊婦訪問は経産婦は希望しない場合もあるが、今後も初妊婦は積極的に訪問し、出生前からの切れ目ない支援を継続して行っていく。</p>			

具体的な 施策	施策	⑩ 乳幼児期の健康診断や相談体制等の充実	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児及び乳児訪問（乳幼児全戸家庭訪問事業） 延べ数 31人（19人）</li> <li>・乳児健診 実績 6回（延べ数73人 93.6%）</li> <li>・ベビースクール 実績 5回（延べ数22人 37.9%）</li> <li>・1歳6か月児健診 実績 5回（延べ数26人 96.3%）</li> <li>・3歳児健診 実績 5回（延べ数31人 93.9%）</li> <li>・5歳児健康相談 実績 2回（前期・後期）（延べ数32人 100%）</li> <li>・親子クッキング教室 新型コロナ感染拡大防止のため中止</li> <li>・健康・栄養相談の実施 実績延べ数438人</li> </ul>		
	今後の方向性等	<p>○1歳6か月児、3歳児健診の未受診は、各1～2名で、例年通りほぼ全員が受診できている。乳児健診は、新型コロナ感染拡大防止のため毎回周知を実施した効果もあり、例年より高い90%以上の受診率であった。今後も受診勧奨を強化し、必要な支援を実施していきたい。</p> <p>○ベビースクールは、子育て支援センター利用促進と母子の交流機会を増やす事を目的として、子育て支援センターで実施している。R2年度は、乳児健診同様、新型コロナ感染拡大防止のため毎回周知を実施したが、法定健診ではないため、受診控えがあったと考えられ、例年より受診率は減少した。今後も感染症対策を強化し、安全に参加できるような環境整備を行い、目的に沿った事業実施に努めたい。</p> <p>○各乳幼児健診及び新生児訪問において子育てアンケート（虐待予防スクリーニング）を実施し、虐待リスクの早期発見対応、子育てニーズの把握を行っており、今後の子育て支援体制を検討していく資料としていきたい。</p>		
	施策	⑪ 小児期の健康診断や相談体制の充実	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高生すこやか健診 実績 6回（延べ人数131人 受診率40.7%）</li> <li>周知～小中学生は学校を通じて個別周知し、町外に通学している中学生や高校生については郵送による個別周知。</li> <li>・健診結果説明会（栄養相談及び試食配付） 実績2回（延べ数49人）</li> <li>・すこやかクッキング教室 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）</li> <li>※事業中止の代替えとして、食生活改善推進協議会と協力し、野菜を使用したレシピと栄養成分の読み方の媒体を作成し、すこやか健診周知の際に、普及啓発を実施。</li> </ul>		
	今後の方向性等	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年と比較すると受診率は若干の低下がみられた。中高生の受診者の大半が小学生からの継続受診者である事から、小学生の受診勧奨を強化していきたい。健診は、子ども自身が、自己の健康状態・生活習慣を振り返る良い機会となるため、今後も受診勧奨を強化し、受診率向上に努めたい。</p> <p>○健診結果においては、中高生で総コレステロール、LDLコレステロールの脂質の有所見が25%を超え上昇傾向にある。脂質の過剰摂取は肥満となることや、小児期からの高コレステロール血症は将来動脈硬化を促進する要因となるため、保健指導にて運動習慣の大切さや栄養バランスについて普及啓発していきたい。また、子どもたちの健康づくりをきっかけに、家族全体の健康づくりへとつながるよう取組を進めたい。</p> <p>○すこやかアンケートより、緑黄色野菜やその他野菜の摂取状況は、依然として野菜不足の傾向が継続しているため、今後もすこやかクッキング教室や保健指導等で、野菜摂取の必要性について普及啓発を強化していきたい。</p>		
	施策	⑫ 歯科保健の充実	担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.6歳児・3歳児歯科検診 実績 5回（延べ数57人 95%）</li> <li>・歯科検診・フッ素塗布 実績 5回（実人数72人 延べ数87人）</li> <li>・歯科保健指導 実績延べ数89人</li> <li>・フッ化物洗口事業 実績 年長児25人（92.6%）</li> <li>※新型コロナ感染拡大防止のため小中学校は未実施</li> <li>（参考）小中学校におけるフッ化物洗口事業実施希望率 小学校170人（90.4%）、中学校74人（74.7%）</li> </ul>		
	今後の方向性等	<p>○R2年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、歯科検診・フッ素塗布の実施回数も6回から5回へ減少し、対象者もある程度限定したため、全体数は減少した。今後も内容の充実を図り虫歯予防対策を強化していきたい。</p> <p>○フッ化物洗口は、平成28年度より年長児、小・中学校全学年までを対象として実施している。R2年度は、新型コロナ感染拡大防止のため小中学校は未実施となった。今後は、小中学校で、事業再開できるような学校と感染症対策等について協議しながら、事業実施していきたい。</p> <p>○上記の他、5歳児健康相談等様々な機会での健康づくりについて普及啓発を実施している。</p>		

	施 策	担 当 課	保 健 福 祉 課
具体的な 施策	⑬ 予防接種事業の助成拡充		
	2年度の取組状況 ・定期接種（A類疾病）については、全額助成を実施している。 ・任意接種については、おたふく（4,900円/回） 助成実績25回 ロタ（12,100円/回） 助成実績33回（R2年4月～9月） ※ロタについてはR2年10月より定期接種に追加 季節性インフルエンザ 助成実績386回 （妊婦・18歳未満＝1,300円/回 2回接種する場合は、2回目1,600円）		
	今後の方向性等	○定期接種については、適切な時期に接種できるよう未接種者へ個別勧奨しており、接種率は非常に高い状況である。今後も、予防接種の効果や必要性を普及啓発しながら未受診者対策に努めていきたい。 ○乳幼児を対象とした任意接種も個別勧奨しており、接種率は定期接種同様に高い状況である。今後も予防接種の効果や必要性の普及啓発に努めていきたい。	

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向		(2) 特色ある学校教育の充実と基礎・基本の定着を図る						
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
	英語検定合格率	中学校 59.3%	72.7%				80%	90.9%
	漢字検定合格率	小学校 79.9%	74.0%				80%	92.5%
		中学校 45.2%	37.1%				80%	46.4%
	全国学力・学習状況調査 全国平均	小学校 平均以下	実施なし					平均以上
中学校 平均以下		実施なし					平均以上	- %
具体的な施策	施策	① 学校教育への支援の充実					担当課	教育委員会
	2年度の取組状況	<p>1.保(幼)・小・中・高の密接な連携による教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園、小学校～新型コロナウイルス感染症の影響により連携事業中止</li> <li>・中学校、高校～商業高校オープンスクール実施 参加者22名</li> </ul> <p>2.チームティーチング指導や習熟度別指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象学年 小学4年生以上 ・対象教科 算数・数学、理科</li> <li>・一人一人の習熟に応じた指導の実施</li> </ul> <p>3.小学校全学年での35人学級編成</p> <p>対象になる学年は小学校4年生のみ。町期限付教諭を1名採用し35人学級を実現。</p> <p>4.外国語指導助手の増員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度に増員を計画していたが、新型コロナ感染症の影響により、1名しか任用できなかった。(1名入国できず)</li> </ul> <p>5.小学校低学年を対象とした英会話教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度に増員を計画していたが、新型コロナ感染症の影響により、1名しか任用できず、実施できなかった。</li> </ul> <p>6.英語検定・漢字検定受験料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定：小学生186名、中学生28名</li> <li>・英語検定：中学生21名</li> </ul> <p>7.奈井江商業高等学校の在校生への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒確保活動(入学生トレーニングウェア・制服代・各種検定受験料・学力向上人材育成補助)</li> <li>・学校PR活動(教育の明日を考える集い開催、学校案内パンフレット作成、オープンキャンパス開催)</li> <li>・通学費助成</li> </ul> <p>8.放課後学習指導事業の実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず。</p> <p>9.小中学生を対象とした公設塾の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生1～3年生を対象に実施。(文化ホール・公民館 9/26～12/29)</li> <li>中3：20回、中1・2：各10回 教科：数学</li> </ul> <p>10.国際交流事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。</p> <p>11.ICT教育の充実</p> <p>児童生徒1人1台端末を実現。R3.3月末実施完了。</p>						

<p>具体的な 施策</p>	<p>今後の 方向性等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.保（幼）・小・中・高の密接な連携による教育活動の推進 幅広い分野での実施に向け、各学校と検討していく。</li> <li>2.チームティーチング指導や習熟度別指導の実施 児童生徒にきめ細かな指導ができ、できない子を作らない指導にも繋がるため、今後も継続して教育の加配を要望していく。</li> <li>3.小学校全学年での35人学級編成 児童生徒にきめ細かな指導ができ、できない子を作らない指導として効果が高いことから、継続して事業を行っていく。R3～5年生町独自35人学級。</li> <li>4.外国語指導助手の活用による外国語授業の推進 早い段階から外国人の授業を経験することで、国際感覚やコミュニケーション能力が養われ、さらに、ネイティブ英語を聞くことで、聴覚的感覚を身に付けることができ、子ども達の将来を見据えた効果の高い事業と考えられることから、今後も継続していく。</li> <li>5.小学校低学年を対象とした英会話教室の開催 R3年度途中に2名体制となるため、開催を検討していく。</li> <li>6.英語検定・漢字検定受験料の助成 中学生の受験率を上げるよう、学校と検討していく。</li> <li>7.奈井江商業高等学校の在校生への支援 今後も存続に向けた取り組みを継続。支援内容については、生徒にとって実りあるものとなるよう、学校と検討していく。</li> <li>8.放課後学習指導事業の実施 R3年度から小学3～6年生を対象にした公設塾を開設したことから、小学1～2年生の児童に対する支援について小学校と検討する。</li> <li>9.公設塾について 中学生を対象とした公設塾からシフトチェンジし、基礎学力及び家庭学習習慣の定着のために、R3年度より小学生を対象とした公設塾を開設。より早い段階からの「学び」のサポートを行う。</li> <li>10.国際交流事業 児童生徒の世界への視野を広げるために、ALT・民間団体・オンラインなどを活用し、積極的に事業を検討する。</li> <li>11.ICT教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業内容の充実に向けて、教職員の研修を行う。</li> <li>・1人1台端末をより活用（家庭での利用）し、児童生徒の学力向上効果を図る。</li> </ul> </li> </ol>
--------------------	---------------------	--

奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本目標④	<p><b>④健康で安心なくらしを守り、生きがいのある「まち」づくり・「ひと」づくり</b></p> <p>職業や年齢に関わらず、だれもが安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めるとともに、職業や立場を問わず、町内の様々な世代が交流し、人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを目指すほか、地域住民が自ら企画し実施する事業を支援し、潜在している住民を発掘するなど人材育成を目指します。</p> <p>また、広域連携等を通じて、近隣市町との連携をさらに深めていきます。</p>								
	数値目標	指 標	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)
		転出者数	184.2人	181人				170人	106.5%

基本的な方向	(1) 一人ひとりの健康づくりに対する支援を充実させる								
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 ( R1 )	現状値 ( R2 )	実績値 ( R3 )	実績値 ( R4 )	実績値 ( R5 )	数値目標 ( R6 )	達成度 (R2:R6)	
	健康だと思う人の割合 (健康意識アンケート)	81.9%	-				85%	96.4%	
具体的な施策	施策	① 健康づくりの推進						担当課	保健福祉課
	2年度の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育 (回数148回 人数1,737名)</li> <li>・健康相談 (延べ人数 2,491名)</li> <li>令和2年度は、健康づくり全般の推進を行い、ライフサイクルに応じて効果的に健康教育・健康相談を実施した。</li> <li>・家庭訪問実施状況 244件</li> <li>・健康診査 (集団) 262名</li> <li>・骨粗しょう症検診 113名</li> <li>・がん検診 (胃がん213名 肺がん312名 大腸がん329名 乳がん186名 子宮がん150名 前立腺がん66名)</li> <li>・その他検査 (肝炎検査14名 ビロリ菌検査13名)</li> <li>・エキノコックス検査 75名 (3年ごと実施)</li> </ul>							
	今後の方向性等	R2年度は、平成28年度から10年間の健康づくりの行動計画である「第2次奈井江すこやかプラン21」の中間評価を実施し、計画の見直しを実施した。今後5年間は、見直した計画に沿って、各年の重点事業を着実に遂行し、R5年度の健康意識調査においてKPIが目標値に到達するよう推進していく。令和3年度は、「こころの健康」を重点事業として推進していく。							



## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(2) 安心して生活できる基盤整備を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
	認知症サポーター養成者数	482人	482人				500人	96.4%
具体的な施策	施策	① 医療・介護サービスの推進					担当課	保健福祉課
	2年度 の取組状況	認知症サポーター養成修了者に、フォローアップ講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止対策のため中止となり、活動のフォローアップのため、パンフレットを送付し、普及啓発を実施した。						
	今後の 方向性等	高齢化により、認知症の発症は誰にでも起こりうる問題であり、認知症になっても支え合い、安心して生活が送れる地域づくりの重要性の啓発、活動支援の継続を行う。						
	施策	② 高齢者見守り体制の充実					担当課	保健福祉課
	2年度 の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急通報装置設置事業 新規設置数 2台 ※総数33台 (うち 従来機種5台 シルバーホン28台)</li> <li>・高齢者見守りサービス事業 (6事業所)</li> <li>・奈井江町 SOS ネットワーク事業</li> </ul>						
	今後の 方向性等	緊急通報装置設置事業については、今後も必要な世帯には適切に設置できるよう事業内容の周知に努めたい。また、高齢者の見守り体制を充実するため見守り協定締結している団体との連携強化及び新たな事業所と見守り協定を提携を進めていく。さらに必要な人が制度を活用できるよう奈井江町 SOS ネットワーク事業事前登録制度の周知を強化していきたい。						
	施策	③ 地域包括ケアシステムの推進					担当課	保健福祉課
	2年度 の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア推進委員会：年 2 回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止対策のため書面会議)</li> <li>・住民支え愛推進会議：年 1 回 (新型コロナウイルス感染症まん延防止対策のため書面会議)</li> <li>・地域ケア会議 (Web 会議：介護保険事業計画について：1 回)</li> <li>・地域医療連携運営会議にて報告：年 1 回 在宅医療・介護連携事業実施状況について (新型コロナウイルス感染症まん延防止対策のため書面会議)</li> </ul>						
	今後の 方向性等	高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしく最後まで生活できるよう、住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供される仕組みづくりを、関係機関と連携を図り継続的に実施する。						
	施策	④ 奈井江版 CCRC (生涯活躍のまち) 構想の推進					担当課	企画財政課
2年度 の取組状況	第1期総合戦略に引き続き、サービス付き高齢者住宅の中高齢者を中心とした活躍のまちの実現を目指してきたが、要介護者等の入居者が多く、地域での活躍の場を確立することが難しい状況となっていることから、構想を改めて検討していくこととした。							
今後の 方向性等	今後は、中高年齢者から全世代・全員活躍型の生涯活躍のまちへ構想を転換し、新たな構想づくりを令和3年度中を目途に策定し、令和4年度からの実施につなげていきたい。							

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(3) 町民のコミュニティ形成を推進する								
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)	
	サロン活動組織数	3組織	5組織				7組織	71.4%	
	生活支援ボランティア(ちよぽ)登録者数	-	12人				30人	40.0%	
具体的な施策	施策	① 地区担当職員の設置					担当課	企画財政課	
	2年度の取組状況	<p>■町と町民との相互理解と信頼関係を深め、コミュニティ強化と地区活動の活性化を図るため、町内8つの地区に地区担当職員を配置</p> <p>【令和元年度】・連合区総会等への出席 12件</p> <p>【令和2年度】・連合区総会等への出席 5件(新型コロナウイルス感染症の影響により減)</p>							
	今後の方向性等	・地域カルテを活用し、地域の課題や地域の特徴などを再確認し、地域の方向性などを協議し、地域の課題の解決や、活動の促進につなげていく							
	施策	② コミュニティカフェの運営					担当課	保健福祉課	
	2年度の取組状況	<p>・協力隊1名と会計年度任用職員2名で実施。12月からは協力隊の任期終了に伴い、会計年度任用職員に転換し、3名での活動を継続している。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、R2.6.15～R3.3.31まで土日祝日を除く193日営業。延べ利用人数3,001名</p> <p>・カフェボランティア活動(養成研修1回1名参加)(傾聴ボランティア35日間 延べ70名参加)(まちの先生事業8回 80名参加)</p> <p>・カフェを活用しながら交流の場を提供するとともに、世代間が交流できる仕掛けづくりや高齢者の引きこもり防止につながる取組みなどを展開している。</p>							
	今後の方向性等	今後も町民の交流の場、地域の憩いの場所として機能するように、住民が主体となり展開する活動(まちの先生事業)などのボランティア活動を支援していきたい。							
	施策	③ ボランティア活動やサロン活動の充実					担当課	保健福祉課	
	2年度の取組状況	<p>カフェボランティア活動は②コミュニティカフェの運営と同上。</p> <p>生活支援体制整備事業を社会福祉協議会に委託している。介護予防サポーター養成をし、サポーターによるサロンが5か所発足。令和2年度はコロナ禍であったため中止期間があったり、活動を休止したサロンがあった。5か所：参加者延べ1417人。</p>							
	今後の方向性等	地域の支え合いづくり、見守り体制の重要性からも、介護予防サポーターであるサロン活動の後方支援の継続を実施。							
	施策	④ 地域公共交通の利用促進					担当課	総務課	
2年度の取組状況	<p>住民生活を支える地域公共交通の維持、確保を図り、利用しやすいダイヤの実現や利便性の向上を図り、利用の増加に取り組む</p> <p>・公共交通3路線</p> <p>①町営バス(市街地循環線、向ヶ丘線)</p> <p>市街地循環線 目標値 1,500人/年 実績値 1,569人/年</p> <p>向ヶ丘線 目標値 7,800人/年 実績値 4,676人/年</p> <p>②乗り合いタクシー 目標値 1,100人/年 実績値 652人/年</p>								
今後の方向性等	<p>① 町営バス</p> <p>○市街地循環線</p> <p>「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きいものの、年々住民への定着が進んでおり、大きな利用減にはなっておらず、令和2年度は運行経路の拡張を行うなど、利用者ニーズに応えた。今後も利用者の増加に努める。</p> <p>○向ヶ丘線</p> <p>「ないえ温泉」の休止及び「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きい。これらの影響が長引くようであれば、減便等を検討し利用率の改善に努める必要がある。</p> <p>② 乗り合いタクシー</p> <p>「新型コロナウイルス」感染拡大の影響が大きく、これらの動向が明確にならない限り従前の利用者数に戻すことは難しい。利用者が固定化されていることから、新たな利用者の掘り起こしなど、利用増加に努める。</p>								

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(4) 地域連携による経済・生活圏の形成を推進する							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
	広域的取組	11事業	12事業				13事業	92.3%
具体的な施策	施策	① 自治体広域連携の推進					担当課	企画財政課
	2年度の取組状況	<p>12事業を広域的に行うとともに、定住自立圏域の市町村（5市5町）が連携し、各市町の人材不足解消と人材流出抑制を目的に「しごと」に関する魅力等の情報発信と併せて、この圏域だからこそ実現できるライフスタイルなど幅広い“暮らし”の選択肢や四季を通じたレジャー環境などのPRを実施した。</p> <p>【連携団体】9団体            中空知広域市町村圏組合 5市5町、空知中部広域連合 1市5町            中空知広域水道企業団 3市1町、石狩川流域下水道組合 6市6町            砂川地区保護衛生組合 2市3町、空知教育センター組合 管内全市町            奈井江・浦臼学校給食組合（7月末まで） 2町、砂川地区広域消防組合 1市3町            中・北空知廃棄物処理広域連合 5市9町</p> <p>【連携事業】12事業            ことばの教室、児童デイサービス事業、特別支援教育推進協議会、施設の相互利用            保育所広域入所、医療連携、有害鳥獣対策連絡協議会、消費者相談業務            旅券の発給申請受理・交付事務、戸籍電算システム共同運用、公平委員会、学校給食事業</p>						
	今後の方向性等	今後も各種公共サービスの向上及び利用促進を図り、中空知の経済・生活圏の形成を推進するため連携事業の維持、継続を行う。						

## 奈井江町 まち・ひと・しごと総合戦略 進捗管理シート

基本的な方向	(5) 住民と一体となった防災・救急体制の充実を図る							
重要業績評価指標 (KPI)	数値目標項目	基準値 (R1)	現状値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	数値目標 (R6)	達成度 (R2:R6)
		消防団員数	53人	49人				55人
具体的な施策	施策	① 消防団の充実					担当課	総務課
	2年度 of 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により、各事業が相次ぎ中止となりましたが、感染対策を十分に行い、消防団単独の訓練に加え、秋には町内事業所と合同で避難、放水訓練を実施した。</li> <li>・法令改正により地方公務員(役場職員)が年次消防団へ加入する。</li> </ul>						
	今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の取り組みを継続的に実施するとともに積極的に消防団員加入推進活動を進めていきます。</li> </ul>						
	施策	② 車両整備事業					担当課	総務課
	2年度 of 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年に更新されて以降、24年経過された車両の更新となり、奈井江消防団3分団の消防ポンプ自動車Ⅱ型が導入された。</li> <li>・積載装備については、可搬式消防ポンプB-2級・発電機・2連梯子等が装備され、今後の災害活動対応の充実化が図られてた。</li> <li>・納車後速やかに消防団へ消防車両取扱訓練を実施し、旧車両からの移行作業を実施した。</li> </ul>						
	今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続的に消防団への訓練を実施し、より一層迅速かつ的確な災害対応ができるよう努める。</li> <li>・車両の維持管理にあつては、奈井江・浦臼支署機械係で定期的に点検を実施する。</li> <li>・納入業者と密に連絡を取り合いながら、良好な車両維持に努める。</li> </ul>						